

# 第2回 長久手町住民会議報告

日 時：平成 20 年 4 月 12 日（土） 午後 2 時～4 時 40 分

場 所：まちづくりセンター 2 階集会室

住民会議メンバー：18 名

事 務 局：長久手町まちづくり推進部長、企画政策課 課長補佐、専門員、主事  
コンサルタント 3 名

## 当日のプログラム

あいさつ

議 題

10年後の長久手町の将来ビジョン  
について

- ・ グループ討議
- ・ グループ発表
- ・ 全体討議

その他（次回について）



## （1）あいさつ

冒頭にまちづくり推進部長があいさつを行い、今回の住民会議が新しいまちづくりのきっかけとなればという旨を伝えました。

## （2）10年後の長久手町の将来ビジョンについて

### グループ討議

事務局があらかじめ設定したA～Cのグループにもとづき、グループ毎に10年後の長久手町の将来ビジョンについて、ポストイットを使い、模造紙の上に意見を整理しました。



## グループ発表

各グループで話し合われた内容グループ討議の結果を発表しました。

：詳しい内容は、4～6ページで整理しています。

### Aグループ

- ・町内の田んぼでタニシを見つけた。このような優れた環境を活かして「自然を活かしたい、農を活かす・農ができる」町を目指していくべきである。
- ・「(リニモを有機的に結びつけた)交通の充実」や、「文化教育」「町のPR、観光」「国際交流」も重要なテーマである。
- ・これらのビジョンを実現させていくには、行政と住民の協働が課題である。



### Bグループ

- ・「リニモ周辺」を中心として、コンパクトな町を目指していくべき。
- ・「高齢者や子どもを対象とした取り組み」「ボランティア」「住民と行政の協働」も重要なテーマである。
- ・「長久手ブランド」や「第二のサツキとメイの家」もつくとよい。



### Cグループ

- ・大きく以下の6つのカテゴリーに分かれた。
  - 「小さな町からCO<sub>2</sub>の削減に取り組み世界を変えよう」
  - 「自然景観と都市景観を再生・創造して名所をつくる」
  - 「芸術文化を生活に取り入れ世界へ発信」
  - 「小さな力が大を動かす」
  - 「町民の力を活かすネットワークと場づくり」
  - 「集客力を高めて長久手の活性を」



## 全体討議

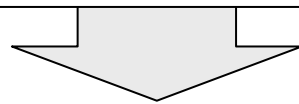
各グループの発表を受けて、休憩中に事務局が6つのカテゴリーに整理し、その結果をもとに次回以降のグループ分けをどのようにするか、全体で討議しました。



### 事務局が整理した案

- |  |
|--|
| 1. 自然の再生(自然、川、農・・・)  |
| 2. ライフスタイルの見直し<br>(CO <sub>2</sub> 、自転車、フードマイレージ(自給自足)、サツキとメイ) |
| 3. 交通(移動)を活かしたまちづくり(リニモ周辺、N-バス・・・)                             |
| 4. 高齢者から子供まで元気な暮らし(福祉、教育、子育て、防犯・・・)                            |
| 5. 長久手ブランディング(観光、国際交流・・・)                                      |
| 6. 質の高い文化・芸術(町民はみんなアーティストだ!!)                                  |

7. 協働・連携 ボランティア (左の1~6 全てに関わる)
---



### 全体討議を踏まえて決めたグループ分け

3つのグループに分類
1. 自然の再生
2. ライフスタイルの見直し
3. 交通(移動)を活かしたまちづくり
4. 高齢者から子供まで元気な暮らし
5. 長久手ブランディング
6. 質の高い文化・芸術

## グループ討議の結果

### Aグループ

カテゴリー	テーマ	キーワード
自然を生かしたい	香流川沿岸整備を通じた街の活性化(環境緑地系プロジェクト外)	・(リニモ公園西駅 - 長久手温泉ござらっせ間) 香流川桜ロードを作る(山崎川(名古屋市)や五条川(岩倉市)を参考)。 ・香流川桜ロードをサイクリングロードとして活用、長久手温泉ござらっせ・あくりん村のイベントとのコラボレーションによる相乗効果。
	香流川・遊歩道の整備	・町内香流川両岸の桜並木。 ・県民空間ワークショップでも検討。 ・県事業、モリコロパークの活用。
農を生かす・農ができる	豊かな自然と農ある暮らし	・農が続けられる環境。 ・貴重な自然環境の保全。 ・グリーンツーリズムのできるフィールド。
	田園バレー事業	・住民農園の充実。 ・周りには花畑など。
文化教育	コミュニティ FM In 長久手開局	・情報ネットワーク(コミュニティ FM 局の開局。コミュニティ FM 局とケーブルTV と家庭のパソコンをつないだ電線ネットワークの形成)
	文化的な空間の創設	・文化的財産の充実。 ・魅力ある公共空間の創設。
	豊かな人と心を育むまちづくり	・小学校 6 校の生徒の格差についての住環境問題(東小では自然、西小ではパソコンなど、差がある。)
交通の充実	リニモ沿線マップの活用	・施設をまわる N - バスの路線をつくる。
	リニモ・N - バスを有機的に活用したまちづくり(交通系プロジェクト外)	・町民の活性化だけでなく、町外者を町内へ呼び込む。 ・リニモ、N - バスと公共施設、学校、病院、スーパー等を有機的につなぐ。
	施設への公共交通機関路線づくり・移動手段の充実整備	・立派な施設ができて交通が不便。 ・N - バスのルート設定(遠回りのルート)。 ・リニモをはじめとした移動手段の整備。
町のPR 観光	長久手ブランド(万博、古戦場)を最大限活用したまちづくり(観光系プロジェクト外)	・(町ボランティア(NEXPO 等)の協力を得ながら) 万博跡地としての活用モデル、万博後の成功モデルを目指す。 (参考:大阪万博記念公園)
	長久手町のPR	・全国的知名度(万博・古戦場) ブランド価値(観光価値)を生む。 ・東京出版社への周知不足。
	長久手町の略史の作成	・転入者へまちを紹介。 ・一般へ販売。
国際交流	姉妹都市ベルギー・ワテルローの何かがあれば・・・	・ミニチュアベルギーを古戦場近くに建てる。
連携・ボランティア	多くの課題達成のための協働	
	高齢化社会へ向けての健全勤労ボランティアの場	
課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長久手町のエリアをどう考えるか。</li> <li>・自治体の規模をどう考えているのか。</li> <li>・名古屋市近郊の住宅都市でよいのか。</li> <li>・地域の将来像を有識者から聞く会。</li> <li>・機能的で調和のとれたまちづくり。</li> <li>・名古屋市と協定、市バスの割引など受けられるように。</li> </ul>		

Bグループ

カテゴリー	テーマ	キーワード
リニモ周辺	機能的で調和のとれたまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広場周辺に新庁舎を建設。</li> <li>・医療クリニックビル、老人用マンション、小規模アウトレットを建設。</li> <li>・リニモの中心を古戦場駅とし、駅前広場を開発する。</li> <li>・広場の中心にモリコロ噴水塔をつくりモニュメントとする。</li> </ul>
	リニモ駅周辺を開発する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リニモ駅を中心に商業施設や住宅が集積するまち。</li> <li>・リニモ駅を中心に道路網を整備する。</li> </ul>
	リニモ沿線を軸にした長久手のまちづくり (まちと田園をつなぐ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パークアンドライド。</li> <li>・N-バス。</li> <li>・アウトレット。</li> <li>・老人1月マンション。</li> <li>・公共交通でどこでもいけるまちづくり(環境にやさしい、高齢者・障害者にもやさしい)。</li> <li>・長久手の“カオ”(中心)のあるまち(住民交流のあるまち)。</li> </ul>
	自転車専用道路の建設 電線等の埋設(グリーンロードを中心に)	
高齢者・子ども	高齢者福祉問題 (障害児・障害者も)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民意向調査でも高齢者福祉の充実が上位項目となっている。</li> <li>・10年後はもっと深刻な問題になりそうだが、少しでもより良いことをみつけたい。</li> </ul>
	子どもと高齢者に優しいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもはこれからの将来を担う大切な財産、成長を助ける空間と政策が必要。</li> <li>・高齢者が生き生きと活動できる空間と政策が必要。</li> </ul>
	安心して子供を育てられるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きめ細やかな子育て支援を実現する。</li> <li>・子育てを中心とした地域コミュニティを形成する。</li> <li>・長久手町で育つ子どもたちに豊かな人生のスタートを保障。</li> </ul>
	相互扶助のコミュニティづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援コーディネーターが常駐する場(支援センター)を設置する。</li> <li>・地域で子どもを育てるといふ、必要な人たちに必要な支援が届く仕組みをつくる。</li> </ul>
ボランティア	ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場(町)として、ボランティア活動の拠点となるべきコミュニティセンターを早急に用意すべき。</li> </ul>
住民主体・協働	住民も主体的に関わるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生や働き手となる世代が多いので、それを生かす。</li> <li>・町自体がコンパクトなことも利点となるのでは。</li> <li>・住民が主体的に加わることで行政の負担を軽くする。</li> <li>・目指したいと思う町のイメージ、雰囲気作りをし、アピールする、住民の方にもそういう意識を持ってもらうようにする。</li> <li>・行政と住民がそれぞれ得意な面を生かし、協力できる体制を作る。</li> </ul>
昭和30年代 サツキと メイの第2	トトロの家(昭和30年代)で2匹目のどじょうを目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回会議で発言した古い道具が長久手小学校にあるのか。</li> <li>・愛知万博のトトロの家の人気をもう一度長久手の東部に町有地があればそれを利用してまちづくりをする。</li> </ul>
農・脳・能	ブランディング長久手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長久手特産物、長久手米で、地産地消・自給自足を目指す。</li> </ul>

Cグループ

カテゴリー	テーマ	キーワード
小さな町からCO <sub>2</sub> の削減に取り組み世界を変える	環境問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>食とエネルギーの地域自給率の増加。</li> <li>サイクリングロードの整備“町内は自転車”。</li> <li>マグニチュード8クラスの東海地震緊急車両の進入不可道路(火災・怪我人)。</li> </ul>
	長久手町住民によるCO <sub>2</sub> の削減の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>長久手町住民が策定したCO<sub>2</sub>削減目標数値が世界基準となるような取り組み。</li> <li>継続的に実施されている中で2000年度対比7%(毎年)削減により10年後50%達成。</li> </ul>
自然景観と都市景観を再生・創造して名所をつくる	花の町・長久手	<ul style="list-style-type: none"> <li>長久手名所となる“花の森”をつくる、全国的に有名となるほどの規模と特徴。</li> <li>田園バレーの周りに花の木を植える。</li> <li>休耕地には花の種をまく。</li> </ul>
	田園バレー事業 香流川の再生	<ul style="list-style-type: none"> <li>香流川の再生を軸に水と花と緑のまちづくり。</li> <li>長久手町全体のビオトープ。</li> <li>多自然型川づくりの推進。</li> <li>住民意識の改革。</li> <li>県の理解と協力を得る。</li> </ul>
	都市景観の向上と維持について	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の景観と人工建造物のバランスの向上と維持。</li> </ul>
芸術文化を生活に取り入れ世界へ発信	芸術文化の高い街	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸大、資料館、美術館、文化の家、住民の一体化。</li> <li>まち全体が芸大のキャンパス。</li> <li>芸大の開放。</li> </ul>
	長久手から発信するアーティストのムーブメント <文化人、アーティストの積極的発掘、活用>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界的なフェスティバルの開催。</li> <li>分野別の詳細なデータ作り。</li> <li>世界中から様々なアーティストが集積、長期滞在、居住し、住民・行政が創作活動を積極的に支援。</li> </ul>
小さな力が大を動かす	全国町長、村長会議(まちづくりサミット)の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪と並ぶ万博開催地。</li> <li>行政の最小単位“町”。</li> <li>経済成長が政治の成長。</li> <li>町・村が日本を動かす。</li> </ul>
	緑あふれるスポーツ振興都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>ツールド長久手の開催。</li> <li>グリーンロード、里山を走る、自転車ロードレース。</li> </ul>
町民の力を生かすネットワークと場づくり	元気なシニアのネットワーク作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>定年後も元気なシニアの活躍場所を用意。</li> <li>交流の場。</li> <li>遊びの場。</li> <li>学びの場。</li> <li>奉仕の場(ボランティア)。</li> <li>まちづくり参加の場。</li> <li>明るく楽しい第2の青春を生きる。</li> </ul>
	青少年の健全育成について“原っぱ”	<ul style="list-style-type: none"> <li>空地の原っぱ化により青少年のエネルギーの健全な“はげ口”を作る(調整地跡地等の利用)。</li> <li>青少年犯罪、ひきこもり、家庭内暴力等の解決に繋がっている(一助けとして)。</li> <li>住民による自主管理により原っぱを中心としたコミュニティのつながりを密接にする。</li> </ul>
集客力を高めて長久手の活性を	道の駅長久手の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンロードとリニモは重要なインフラ。</li> <li>長久手温泉ござらっせへの集客。</li> <li>重要無形文化財の周知。</li> </ul>